

CSR報告書2016

社会から信頼・共感される企業をめざして



御在所岳 第一ケルン

デンソートリム株式会社

もくじ

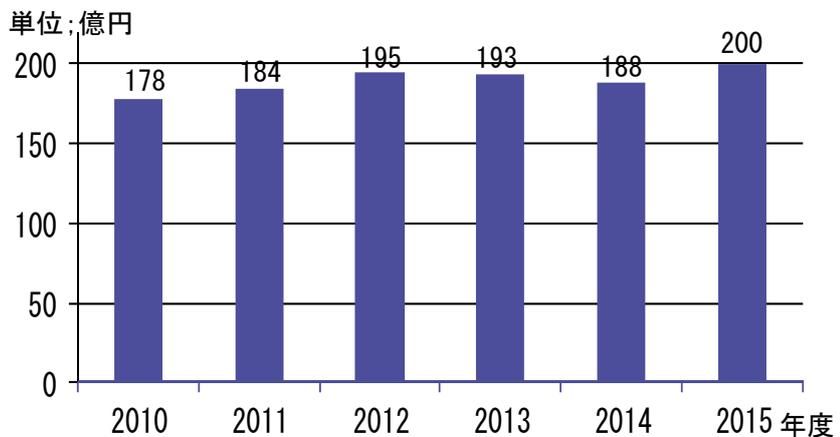
1. 会社概要／製品概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. 製品概要	
1-3. トピックス	
2. 社長メッセージ	4
3. デンソートリムのCSR	5
3-1. 基本的な考え方	
3-2. デンソーグループ企業行動宣言	
3-3. デンソーグループ社員行動指針	
3-4. デンソーグループスピリット	
4. 社会性報告	7
4-1. お客さまとともに	
4-2. 社員とともに	
4-3. 地域・社会とともに	
5. 環境報告	18
5-1. 環境方針	
5-2. 環境監査体制	
5-3. 環境推進体制	
5-4. 環境行動計画	
5-5. 法規順守状況	
5-6. 生産環境負荷削減	
5-7. 環境活動状況まとめ	
6. 製品を通じての社会貢献	23
編集後記	24

※新たに実施した項目や新規製品には、**NEW** が付いています。

1. 会社概要／製品概要

1-1. 会社概要

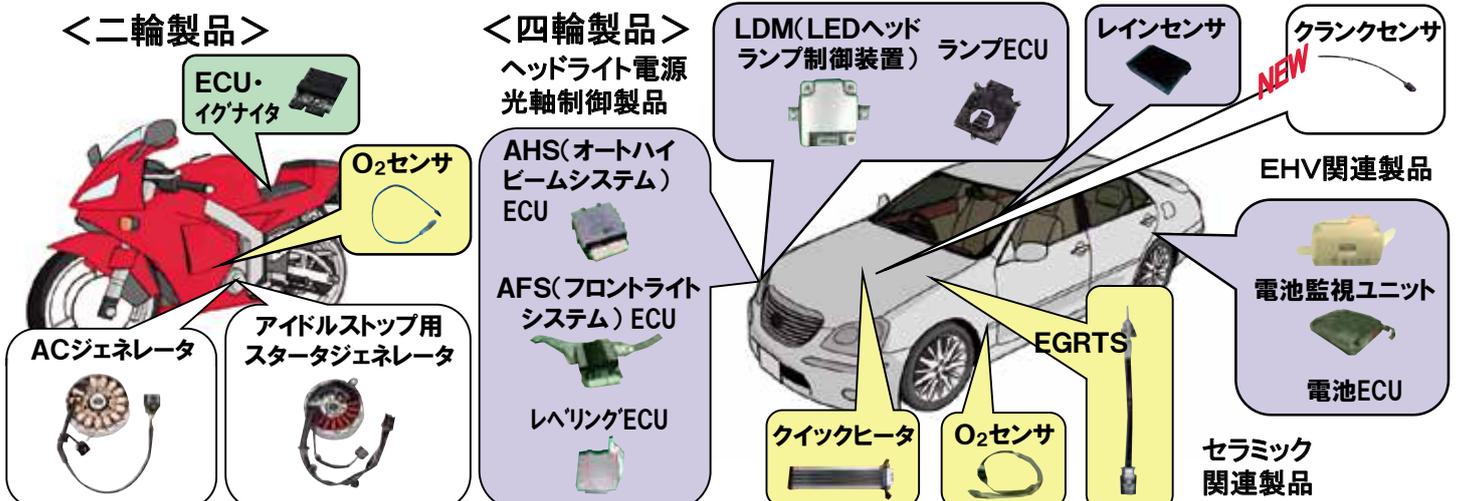
社名	デンソートリム株式会社
所在地	みえけんみえぐんこものちょうおおごはらあかさか 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460
設立	1990年3月30日
代表	取締役社長 山下洋一
資本金	3億1千万円
従業員数	593名（2016年3月末現在）
売上高	



1-2. 製品概要

デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンECU・AFS ECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O₂センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。



1-3. トピックス

①第四種無災害記録 **NEW**

2016年 1月18日、当社は第四種無災害記録（2370万時間）を達成しました。これは、厚生労働省より表彰されるもので、休業、障害、死亡災害が決められた時間、発生していない会社を表彰するものです。日頃より、「ケガをしない、させない職場づくり」を目指し活動した結果です。具体的施策は4-2社員とともに（5）「安全な職場づくり」を参照ください。

今後は、1. 自発的に安全行動できる意識の浸透、2. リスク先取りによる重大災害防止策強化、3. マネジメント強化の3本柱を、よりレベルの高いものにして、社員全員で一致団結し、第五種無災害記録（3550万時間）をめざします。



無災害記録証(第四種)



記念植樹（4月）

②永年勤続表彰 **NEW**

創立25周年を迎えての記念事業として、永年勤続表彰を導入しました。導入初年度として、勤続24年（26名）、勤続23年（26名）、勤続22年（12名）、勤続21年（12名）、勤続20年（5名）の計81名を表彰しました。勤続24年の第1期生は、1991年11月の操業開始時のメンバーです。100名に満たない社員から始まった当社ですが、現在は約600名の会社となりました。



当社役員・部長と勤続24年の皆さん（8月）

2. 社長メッセージ

2016年6月に取締役社長に就任した山下洋一です。
どうぞよろしくお願いいたします。

デンソートリムはデンソーグループの一員として(株)デンソーが2013年に策定した長期経営方針「デンソーグループ2020年長期方針」に則り、事業活動を通じて「地球環境の維持」と「安心・安全に暮らせる社会づくり」に向けて全力で取り組むこととしました。



その為には、CSR（企業の社会的責任）のレベルアップ活動を通じて社員一人ひとりの意識と行動を成長させるだけでなく、ステークホルダーの皆様の声を経営に活かしていきます。そして「社会から信頼され、共感される企業でありたい」と願っています。このCSR報告書も2012年に発行を開始し、今年で5回目となりました。

2015年度の活動を紹介しますと、施設部門の活動が2年連続して国内のデンソーグループ内1位（海外を含めても5位）を受賞、創意工夫功労者表彰も4年連続受賞するなど地道な改善活動が着実に根付いてきたと言えます。

また、2014年に生産を開始した、燃費向上によりCO₂削減に貢献できる「アイドルストップ用ACジェネレータ」や視認性向上により交通事故抑止に貢献できる「ランプECU」などの新製品も生産が拡大しています。

昨年の創立25周年から、今年は新たな25年へ向かう大事な節目の年として、今後もCSR活動を更に活性化し、社員一人ひとりが社会貢献の意識を高め、長期方針の目指す姿の実現に向け、積極的に活動を続けていきます。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2016年9月

デンソートリム株式会社

取締役社長

山下洋一



3. デンソートリムのCSR

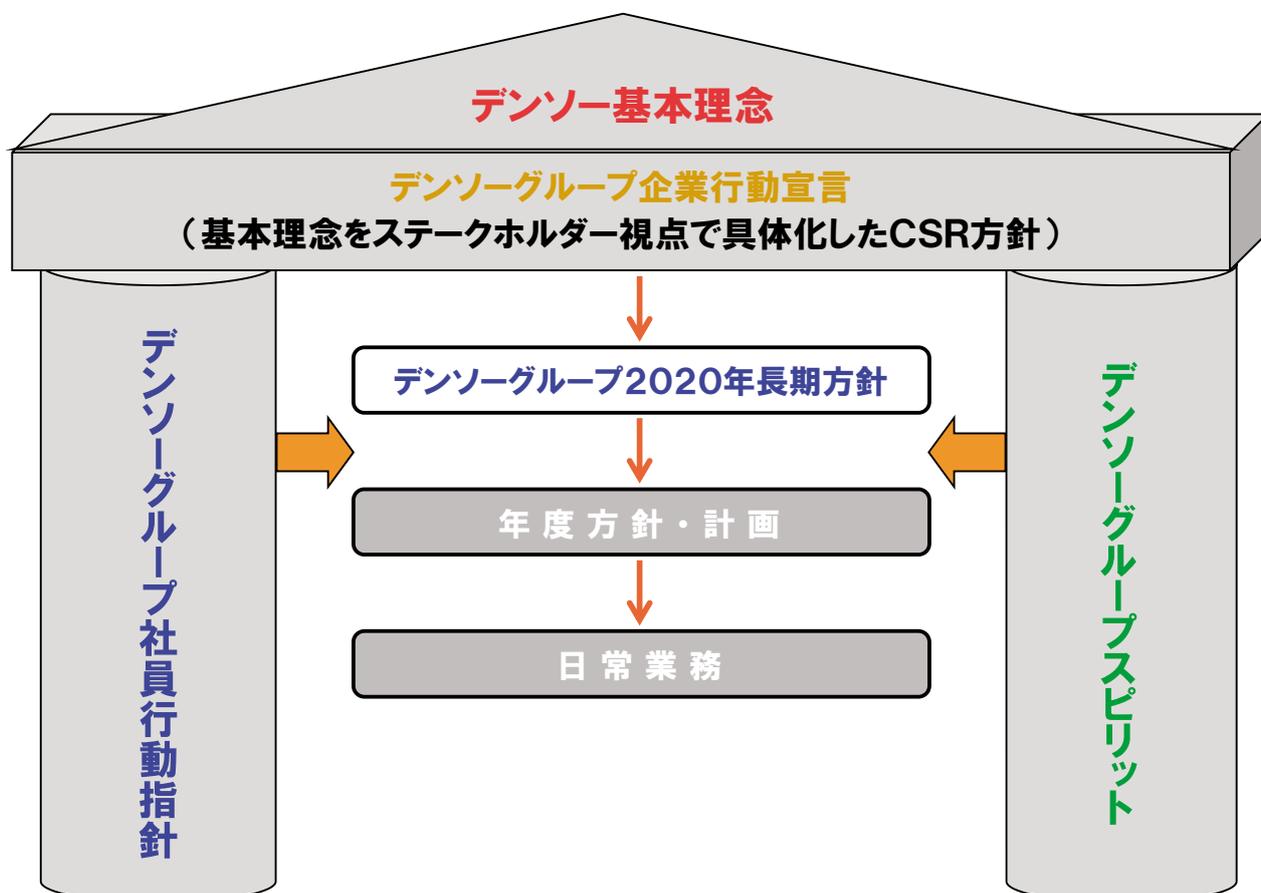
3-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。これを実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。これを世界中で事業活動を行うグループ会社実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定しステークホルダーへの責任を明らかにしました。

以来、CSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2013年に策定した長期経営方針「デンソーグループ2020年長期方針」では、事業の拡大に伴い、デンソーグループに対する社会からの期待がますます高まっていることから、CSR経営のさらなる加速を掲げました。

私たちデンソートリムは、デンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立ててCSR活動を推進しています。



3-2. デンソーグループ企業行動宣言

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 経営トップのリーダーシップのもと、誠実な事業活動をグローバルに遂行します。法令とその精神を遵守するとともに倫理的行動を実践します。
- (2) 各国の文化・歴史を尊重して人を大切にする経営に努め、オープンでフェアな情報開示と対話を実践します。
- (3) 変化を先取りして、新しい価値の創造にチャレンジします。そして、現地現物を重視しカイゼンに努めて最高の品質を実現します。
- (4) コミュニケーション、チームワークを大切にして、人材の育成に努めます。

3-3. デンソーグループ社員行動指針

「デンソーグループ企業行動宣言」を実践するため、社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。

社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

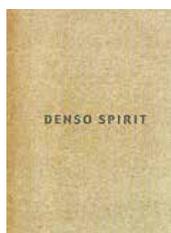


目次

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場をめざして
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄をめざして
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

3-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。



企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として
連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の
考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組み
を推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、
グローバルな共有に注力しています。

4. 社会性報告

4-1. お客さまとともに 一品質一

品質を支えるのは、人の力。品質第一主義を基本に高品質なモノづくりに努めています。

そのために、独自の教育システムを構築して社員教育を推進するとともに、デンソーグループの教育カリキュラムにも参加しています。従業員一人ひとりが必要なスキルを身に付け、お客さまの満足向上につなげています。

(1) 品質保証の基本方針

1. お客様に対する品質第一主義に徹する
2. 仕事の各段階で最初から正しく品質保証する
3. 全員参加による品質管理を推進する

(2) 社員教育

①わかば道場（社内教育訓練道場）

新入社員の導入教育において、座学（O F F - J T）と訓練（O J T）を融合し、モノづくりに対する考え方を習得します。また、新入社員だけでなく、中堅・職制の教育、更に国家検定練習の場とし、人材育成に活用しています。



②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為にメニュー作りを強化しています。

階層別教育 ⇒ 役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上、管理手法の習得を図る教育

職能別教育 ⇒ 各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

	階層別教育		職能別教育		
	マネジメント	グローバル	事務分会	技術分会	技能分会
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ・TQC ・課題形成能力向上 ・コーチング ・MBC 	<ul style="list-style-type: none"> ・出向者の役割 ・海外人事管理 ・地域スタディ ・現地語教育 		<ul style="list-style-type: none"> ・新任課長特許・品質 	<ul style="list-style-type: none"> ・異常処置認定 ・特殊工程講師
指導級	<ul style="list-style-type: none"> ・課長安全教育 ・5等級研修 ・リーダーシップ ・班長(倫理機密) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Gコミュニケーション ・マネジメント勉強会 ・工場マネジメント ・人事労務管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産管理製品2級 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任係長品質 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度技能研修(デンソー) ・新任班長環境教育 ・TIE上級
中級	<ul style="list-style-type: none"> ・課題発表 ・仕事の教え方 ・人の扱い方 ・中堅社員 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外経験者講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算 ・法務 ・海外事業概要 ・生産管理製品1級 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術検定 ・実験計画法 ・品質管理 ・生産技術中級 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家技能検定 ・オペレータ研修 ・C級計測器 ・安全・衛生、資格
初級	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決 ・働く心構え ・仕事の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発「英会話」 ・自己啓発「英文筆記」(初級～管理職) 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・TIE基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修 ・特許・基礎技術 ・原価と原価管理 ・製品知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・PMの基礎 ・異常処置対応認定 ・初級品質管理 ・TIE物の流し方

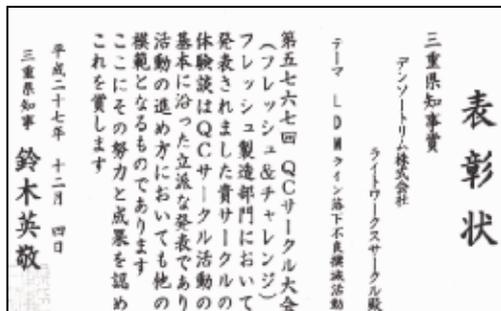
③ Q Cサークル

1991年から開始しているQ Cサークル活動は、サークルメンバーの能力の向上・自己表現、明るく活かに満ちた生きがいのある職場づくり、お客さま満足の向上及び社会への貢献をめざしています。

2015年度は57サークル計491名がP D C Aサイクルを回し、部内選考や全社大会を通じて相互啓発に努めました。その結果、「Q Cサークル・フレッシュ&チャレンジ大会」にて、三重県知事賞を受賞することができました。



Q C全社大会（11月）



三重県知事賞表彰状（12月）



三重県知事賞盾（12月）

4-2. 社員とともに

(1) コミュニケーション

① 全社朝礼

毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催しています。

社長と部長以上の職制1人から社員に向けた講話を行なうことに加え、優れた成果を収めた社員の各種表彰も行なっています。

また、当日夜勤の方や聴覚障がい者の方々にも朝礼内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストを作成し、各職場での展開を実施しています。



② 社員親睦

より良い職場環境を築くには、社員相互の豊かなコミュニケーションが不可欠と考え、社員同士の親睦を図る場として、新入社員歓迎企画の開催や、デンソー大安製作所での大運動会に参加しています。



新入社員歓迎企画（25周年祝賀会）



参加者記念撮影（6月）



大玉運び競技の様子（6月）

③新成人を祝う会

新成人として晴れて大人の仲間入りをされた皆さんを祝う会を社内で開催しています。社長・役員・上司からのお祝いの言葉に続いて、新成人の方が生まれた頃の出来事や、新成人の意識調査を紹介しながら新成人の皆さんに抱負やチャレンジしたいことを語っていただきました。

はつらつとした新成人の皆さんのお話と笑顔に会場は和やかな祝福ムードに包まれました。



新成人の皆さん（1月）

④グリーンカーテン・コンテスト

デンソーグループでは6月の「環境月間」にあわせ、環境にちなんだ各種行事を展開しており、その一環として「デンソーグループグリーンカーテンコンテスト」を開催しています。ゴーヤ部門とフリー植物部門の2部門で一株あたり面積及び収穫量、出来栄えと取り組み内容を基準にグループ会社で競います。

2015年度、チーム全体での取り組み姿勢を評価され「ベストチームワーク賞」を受賞しました。グループ会社24社27チームが競争し上位10チームが受賞となりました。取り組み姿勢に関しては当社が1位です。

また当社内でも、社員（家族含む）が栽培しているグリーンカーテン（アサガオ、ゴーヤ等種類問わず）を対象に、フォトコンテストを開催しています。審査基準は栽培面積や収穫量、形状のユニークさ・エレガントさ等を総合的に判断しています。



ベストチームワーク賞受賞作品

⑤ファミリーオープンハウスデー

社員のご家族の皆さんに会社施策への理解を深めていただくとともに、社員とご家族のコミュニケーションの充実を目的として、社内を見学していただく「ファミリーオープンハウスデー」を開催しています。

学校の夏休みに合わせて実施し、職場見学に加え、お子様に「モノづくり」が好きになってもらえるよう「モノづくり体験」も実施しています。

2015年度は5家族13名に参加いただき、お子様からは「お父さんが頑張っていることがわかりました」「工場には様々な仕事をしている人がたくさんいて作業が速くてすごいと思った」「食堂で一緒にご飯が食べられて楽しかった」等の感想があり好評でした。



モノづくり体験で
作成した
ネームプレート



工場見学（7月）



(2) 社外表彰

①文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」 4年連続受賞

創意工夫功労者賞とは、文部科学省が、各企業において、現場で実際に創意工夫し振興の基盤づくりに貢献している者を表彰する制度です。

2015年、当社が推薦した2件が本賞を受賞しました。(2016年4月表彰)

これは当社が「現状のやり方に固執せず、絶え間ない改善を実践する」というデンソーグループ・スピリットを実践していることによるものです。

これからも、全社一丸となって、製品の品質向上はもちろん改善活動の活性化に努め、継続して受賞者を輩出できるよう、日々愚直にモノづくりに取り組んでまいります。



受賞した保全課岩谷学樹さん、生産3課木中紀之さん

②株デンソー施設部主催「施設 OF THE YEAR」 2年連続、国内1位を受賞

3月25日にデンソー安城で開催された国内施設部門全体会議にておいて、当社の施設保全の取り組みが国内のデンソーグループ会社全21社中、2年連続第1位と大変高い評価を得て表彰されました。

当社独自の活動として、「工場空調効率の追求に向けた取り組み」が評価されました。今後も、更なるレベルアップをめざしていきます。



受賞した施設保全グループの皆さん

③優良勤労者表彰

2015年11月、当社社員が四日市労働基準協会より優良勤労者として表彰されました。

これは、永年勤続とその業績（具体的には、品質管理に熱心に取組み品質の安定、向上に大きく寄与し、他の模範として企業発展に貢献している事）を評価されたものです。



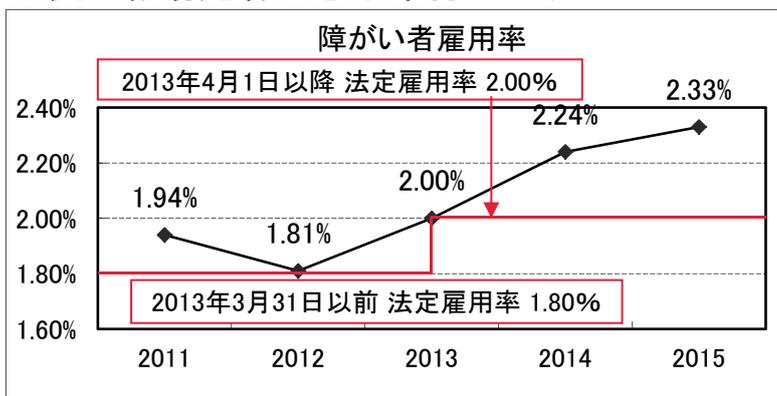
表彰された生産6課渡邊慎二さん

(3) 多様な人々が活躍できる職場づくり

① 障害者雇用

— 在籍している障がい者の方が長く職場定着できる環境づくり —

取組みの一環で、聴覚障がい者の方同士の横の繋がりを持つ場として、聴覚障がい者だけの懇親会を定期的を開催し、そこで会社・職場への要望等も確認・対応しています。



② 仕事と育児の両立支援（育児休暇制度、育児短時間勤務制度）

仕事と育児の両立を支援するための仕組みとして、産前産後休暇をはじめ、法定を上回る育児休暇制度や育児短時間勤務制度を導入しています。

年々、利用者数は増加しており、これからも、継続して仕事と育児の両立を支援する仕組みを進化させていきます。

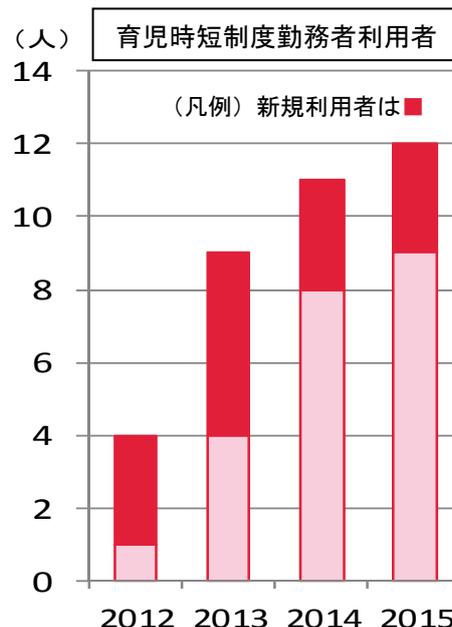
育児短時間勤務制度（9:30～16:30） 利用者の声

仕事復帰する際、育児と仕事の両立ができるかとても不安でしたが、当制度を利用することで復帰することができました。



復帰後も心身ともにゆとりを持つ事ができ無理なく家事・育児ができています。また時間的にもゆとりがあることから子供のペースで生活できることが一番良かったです。

製造企画課 野呂さん



③ 社内人材公募

会社の将来を見据えた体制づくりに向け動き出すとともに、社員のモチベーション向上も図るべく、2013年度から「社内人材公募制度」をつくり、実行に移しました。

この制度は、意欲ある従業員に個人の能力伸展に繋がる活躍の場・機会を提供することを目的とし、幅広く社内より人材を募り、従業員が自由に応募できる制度です。これまでに書類審査や面談の結果、21名が合格し新しい職場で活躍しています。

(4) ころとからの健康管理

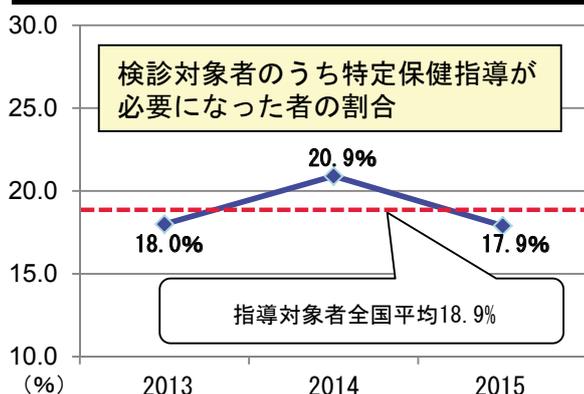
当社では、社員の心身両面の健康づくりを進めています。

増加傾向にある生活習慣病（高脂血症・高血圧・糖尿病など）の予防としては、特定保健指導の対象者に対して、食生活の改善と運動習慣の定着に向けた教育指導を半年間継続実施。また、仕事でストレスを感じる勤労者が増加している中、予防・再発防止を図るべく、メンタルヘルスケア体制充実や管理者教育などに取り組んでいます。

2015度は労働安全衛生法の改正を受け、ストレスチェック制度を導入しました。ストレスチェックとは、医師等による「心理的な負担の程度を把握する為の検査」を実施した際、一定の要件に該当する労働者から申出があった場合は、医師による面接指導を実施し、その面接指導の結果に基づき、必要に応じ就業上の措置を講じると言うものです。メンタルヘルス不調を未然に防止する仕組みの一つです。

当社独自の取り組みとして、労働過多者に対して健康診断を実施し、働き方の改善指導を行う仕組みを開始しました。

特定保健指導（対象40歳以上）



職場活性化研修

	2015年 6月	2015年11月
テーマ	明るく元気な職場づくり教育（管理者向け）	明るく元気な職場づくり教育（一般社員向け）
講師	社内事務局	各職場の管理者
受講者	105名	387名

(5) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しており、操業以来「休業災害以上0」を継続し2016年1月18日に第四種無災害記録（2,370万時間）を達成しました。

①安全指標（15年度）

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

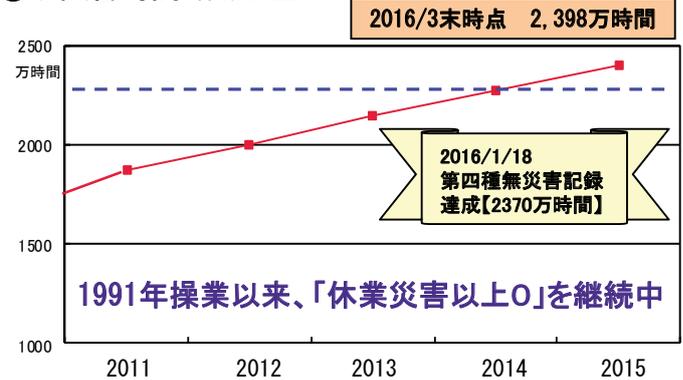
②安全施策

	11年	12年	13年	14年	15年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話3-3 安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				公開段取
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策				
	フォークリフト	大型開口部	成形機	クレーン	ローラ点検
マネジメントの強化	安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着				
	OSHMS全社活動（リスクアセスメント）				
	異常処置認定教育				

③災害発生状況



④無災害時間(休業以上)



今後も愚直に安全活動に取り組み「災害ゼロ」を目指します

(6) 防災 (震災への備え)

東日本大震災での教訓を踏まえて、デンソーグループでは「震災リスク対応」の見直しを進めています。当社ではいざという時に「地域やお客さまに迷惑をかける」を合言葉に日々の活動・訓練に取り組んでいます。

全社員が災害発生時に自発的に初期消火活動や救命活動できるようにする為に、2014年度、菰野消防による各職場防災リーダー（31名）講習会を実施しました。

2015年度は、講習会修了者を社内講師として、全社員（560名）対象に「消火器・消火栓操作と救命講習」を実施し、社員一人ひとりの防災に対する能力向上を行いました。また避難訓練もより実践的にする為に、震災時屋外避難した後に帰宅方面ごとに分かれて「徒歩帰宅をする」想定での訓練もしました。更には、地域との連携を強化する為、当社社員が地域防災訓練にも参加しました。

今後も防災の要となる自衛防災隊のスキルアップを実施してだけでなく、全社員のスキルアップを実施していきます。

内 容	対 象	2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)
応急手当普及員養成	社内防災隊班長	8月 (5名)	8月 (3名)	
普通救命講習/ 消火器・消火栓講習	各職場防災リーダー	6月 (31名)		9月 (6名)
消火器・消火栓操作 & 救命講習 (AED操作他)	全社員 (1.5H)		通年 (560名)	通年 (592名)



帰宅方面ごとに分かれる訓練 (9月)



AED救命訓練 (7月)



地域防災訓練 (8月)

4-3. 地域・社会とともに

(1) 地域との対話を深める懇談会開催

当社では、年に1度、地元の代表の方々と菰野町役場の方を会社にお招きして「トリムの最近の事業活動や環境活動への取り組み状況」をご説明しご理解いただくと共に、地元の皆様からは会社に対しご意見・ご要望をお寄せいただいています。

2015年度は、10月に菰野町役場から2名、地元池底区・大強原区から8名、計10名の皆様に参加いただき、環境取組み体制や環境データの測定結果（工場排水の水質・敷地境界の騒音振動レベル）等を説明し、工場もご視察いただきました。

懇談の場では、年4回実施しているゴミゼロ活動や、地域社会に貢献する交通安全活動の一環として2015年から取り組んでいる「カーブミラー清掃」に感謝の言葉をいただきました。

当社では、今後とも、地域社会の一員として地元行事などに積極的に参加すると共に、情報公開を推進し、周辺住民の方々や行政機関との対話を図ってまいります。



(2) ボランティア活動

地域社会の一員として、「私たちがお世話になっている地域の環境保全活動に少しでも協力しよう！」と会社周辺の環境美化活動を定期的に行っています。当社では、この活動を「DENSOグループハートフルデー」の取り組みとして今後も大切にしていきたいです。

その他にも、社内での「献血活動」や「空き缶のプルトップ収集」さらに「ペットボトルのキャップ収集」を行っており、2013年から古切手の収集も始めました。

① ゴミゼロ活動(年4回;1996年～)

ゴミを無くして、綺麗な街並にしよう！

◆社員本人だけでなく、その家族と一緒に参加も認め実施。



カーブミラー清掃



ゴミゼロ活動

2015年度	参加人数
5月	172名
9月	139名
11月	156名
3月*	104名
計	571名

※3月は菰野町クリーン大作戦と同日に実施

②献血活動(年2回;1995年～)

私達の血液で、命を救おう！

◆献血活動は、1995年から平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施。

表彰

2005 日本赤十字三重県支部長感謝状（銀枠）
 2007 三重県知事感謝状
 2012 日本赤十字三重県支部長感謝状（金枠）

2015年度	参加人数
6月	68名
11月	64名
計	132名



③空き缶のプルトップ収集(2009年～)

アジアの障がいのある子供たちに車いすを贈ろう！

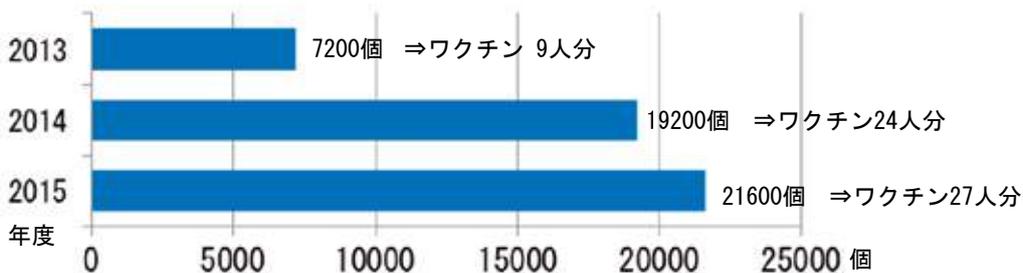
◆自販機に収集箱を設置し、約200kgのプルトップで車いす1台を贈る運動。



④ペットボトルのキャップ収集(2010年～)

世界の子どもをワクチンで病気から救おう！

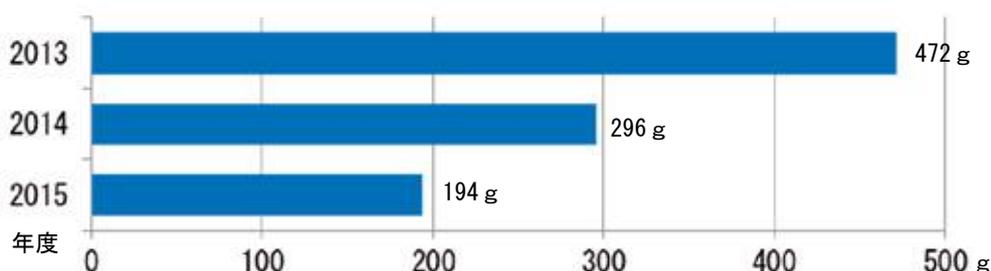
◆工場入口に収集BOXを設置し、満杯（2400個）になると3人分のワクチンを購入可能。



⑤使用済み切手収集(2013年～)

地域の福祉活動推進に役立てよう！

◆工場入口と事務所に収集BOXを設置し、菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈る活動。



(3) 交通安全活動

デンソーグループでは、生命を守るための安心・安全に関わる技術開発やモノづくりを追及するとともに、自動車産業に携わる企業として、社会的弱者が安心して暮らせるよう交通安全の取り組みにも力を注いでいます。

当社でも以下の通り、交通ルールを順守し地域に迷惑をかけないよう指導・徹底をしています。



交通安全決起大会（12月）

2015年12月より、社員各自の安全意識を高めることを目的とし、職場単位で実施する交通安全懇談会を開始させました。社員一人ひとりが、安全運転することを宣言し、互いの経験を話し合うことで、交通事故回避のノウハウを共有する懇談会です。そして日頃から、デンソートリム交通安全10カ条を順守、ハンドルを持つ時は、運転に意識を集中する「スイッチオン活動」も行っています。

実施項目		内容
社員への交通安全教育	新入社員の通勤経路同乗指導（4月）	免許取得1年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施
	若年層向け社外交通安全講習会（7月）	自動車学校の指導で自分自身の運転を見つめ直し、安全運転の意識を高揚
	交通安全決起大会（8月・12月）	四日市西警察署交通課長を講師に招き全員参加で実施
通勤車両管理	西門立哨（月1回）	当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施
	通勤車両チェック（随時）	違法な車両が無い確認
地域活動	ミルミルウェーブ（年2回）	四日市西交通安全協会主催の街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施
	地域立哨（月1回） NEW	地元地域での街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施（永井交差点にて）



ミルミルウェーブ（5月）



地域での街頭立哨（6月）

(4) その他の活動

① 高校生の「職業意識形成」支援活動

近隣の高校生が職業への理解を深め、進路選択・決定の一助となるような支援活動を実施しています。

1) インターンシップ受入れ (2001年～)

作業者として3日間程度、生産職場で実習を行ない、製造工程の技能や決め事に触れて、働くことの厳しさ面白さを、体感していただきます。高校生だけでなく、障がい者(生産職場)、大学院生・大学生(技術系職場)のインターンシップ受入も行なっています

	内容
10月	出前授業(1年生希望者 53名)
11月	出前授業(1年生全員 149名)
11月	工場見学受入(1年生 20名)
12月	工場見学受入(2年生 20名)
1月	インターンシップ受入(障がい者 1名)
2月	工場見学受入(2年生 20名)
2月	出前授業(1・2年生希望者 40名)
3月	出前授業(2年生 14名)

2) 工場見学受入れ (2006年～)

生産現場を案内し、仕事内容を説明することで、製造職への理解を深めていただきます。

3) 出前授業 (2007年～)

授業の一つとして、教室や体育館で「就職・働くとは？」というテーマで講義をします。



工場見学



出前授業

② 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンへの協賛

当社の地元菰野町では、「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」が開催されており、2015年で第10回大会となります。

当社は第1回から、地元へ協力する為に協賛し応援をしています。

本大会は、全国ランニング大会100撰に認定されている人気の高い大会です。全国から参加者が集まる大会ですが、当社社員も負けずにエントリーし、走っております。



5. 環境報告

デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループをめざしています。そのために、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて、環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

これまでデンソートリムでは、「デンソーエコビジョン2015(策定:2005年)」に基づき、温暖化防止、資源循環(省資源)、環境負荷物質の管理・削減(汚染予防)等に重点を置いた活動を推進する事により、無事、目標を達成する事ができました。

2016年からは「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」「クリーン×2(環境負荷低減)」、「グリーン×2(環境保全)」に取り組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開して参ります。

〔デンソーエコビジョン2015〕



5-1. 環境方針

理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

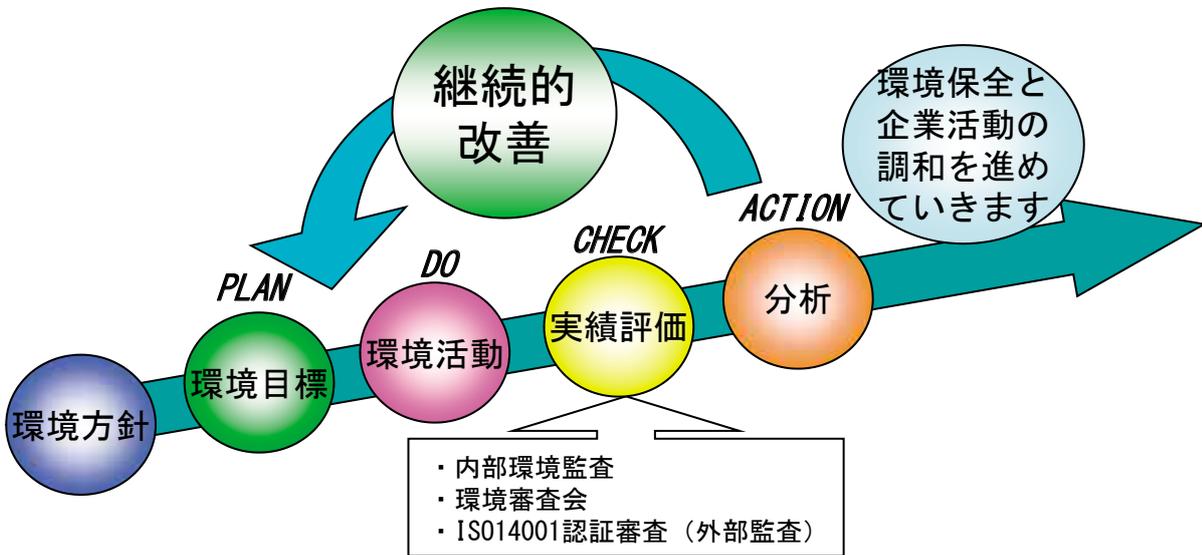
方針 (骨子)

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

5-2. 環境監査体制

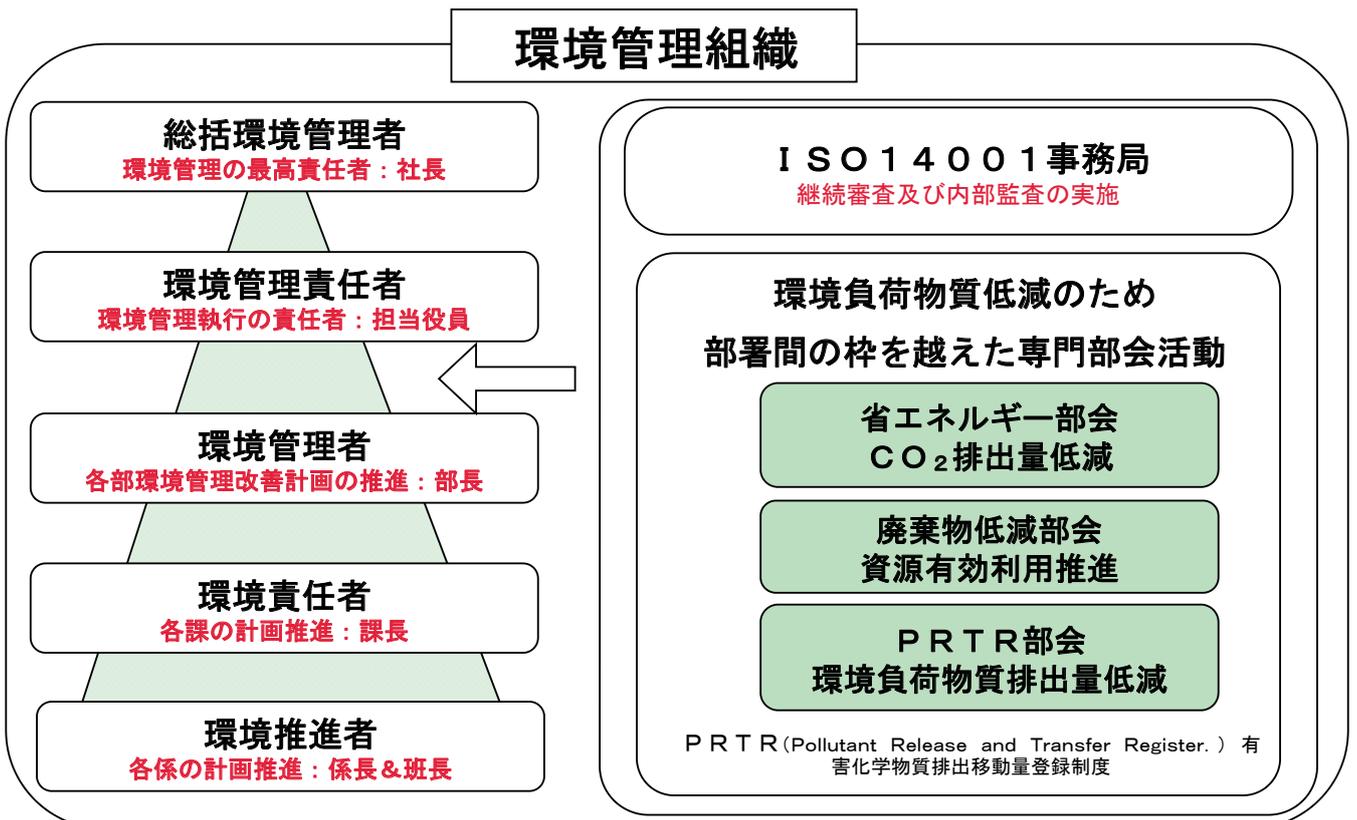
国際規格ISO14001に基づき、「環境マネジメントシステム」を構築しています。



5-3. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。

同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



5-4. 環境行動計画

2015年度の取組項目と実施事項

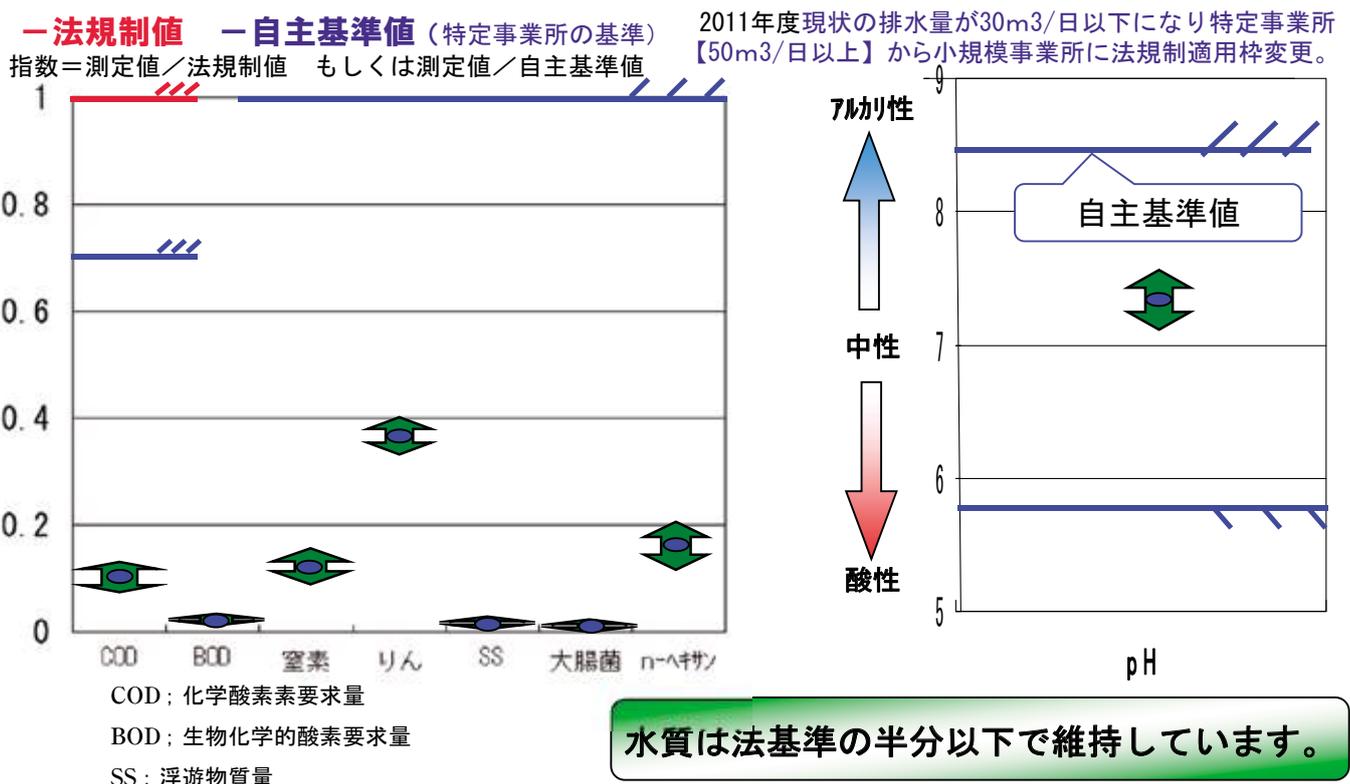
デソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
環境経営の 拡充 【エコマネジメント】	1. 環境マネジメントシステム運用	環境マネジメントシステムの継続的改善	①ISO14001認証の継続(環境に関する継続的改善の推進) ②法規・自主基準の順守(水質、騒音・振動)
	2. 環境パートナーシップの強化	環境に配慮したサプライヤーからの調達	①デソーグリーン調達ガイドラインの仕入先への展開・要請 ②グリーン購入：100%継続
環境と性能 向上の両立 【エコパフォーマンス】	3. 製品に含有する環境負荷物質の管理、削減	環境負荷物質の適正管理	①部品・材料に含まれる環境負荷物質を管理・削減 ②鉛フリーはんだへの切替
	4. 事前環境影響評価の充実	環境影響を事前評価するEMSの推進	①規程に基づく事前環境影響評価の継続 ②仕事の各段階での事前環境影響評価の継続
グローバルな 生産環境負荷 の着実な削減 【エコファクトリー】	5. CO ₂ 排出量低減	①省エネルギーの推進 ②輸送改善等による削減	①CO ₂ 排出量：2014年比▲1.0%
	6. 排出物低減の推進	資源ロス低減活動推進	①総排出物発生量削減：2014年度比▲0.5% ②ゼロエミッション継続 埋立廃棄物量150kg/月以下
	7. 工場環境負荷物質排出量低減	生産工程で使用する化学物質の適正管理と削減	①VOC対象物質：2006年度比▲15% VOC：Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物) 対象物質例【VOC：トルエン、キシレン、イソプロピルアルコール等】
環境行動に関する地域貢献と情報発信 【エコレポーター】	8. その他	地域社会とのコミュニケーションの充実 環境保全意識の高揚	①地域活動への積極的な参画 ②構内緑化活動の推進 ③環境報告書による情報公開 ④環境保全教育・啓蒙活動の推進 ⑤エコカー導入

仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

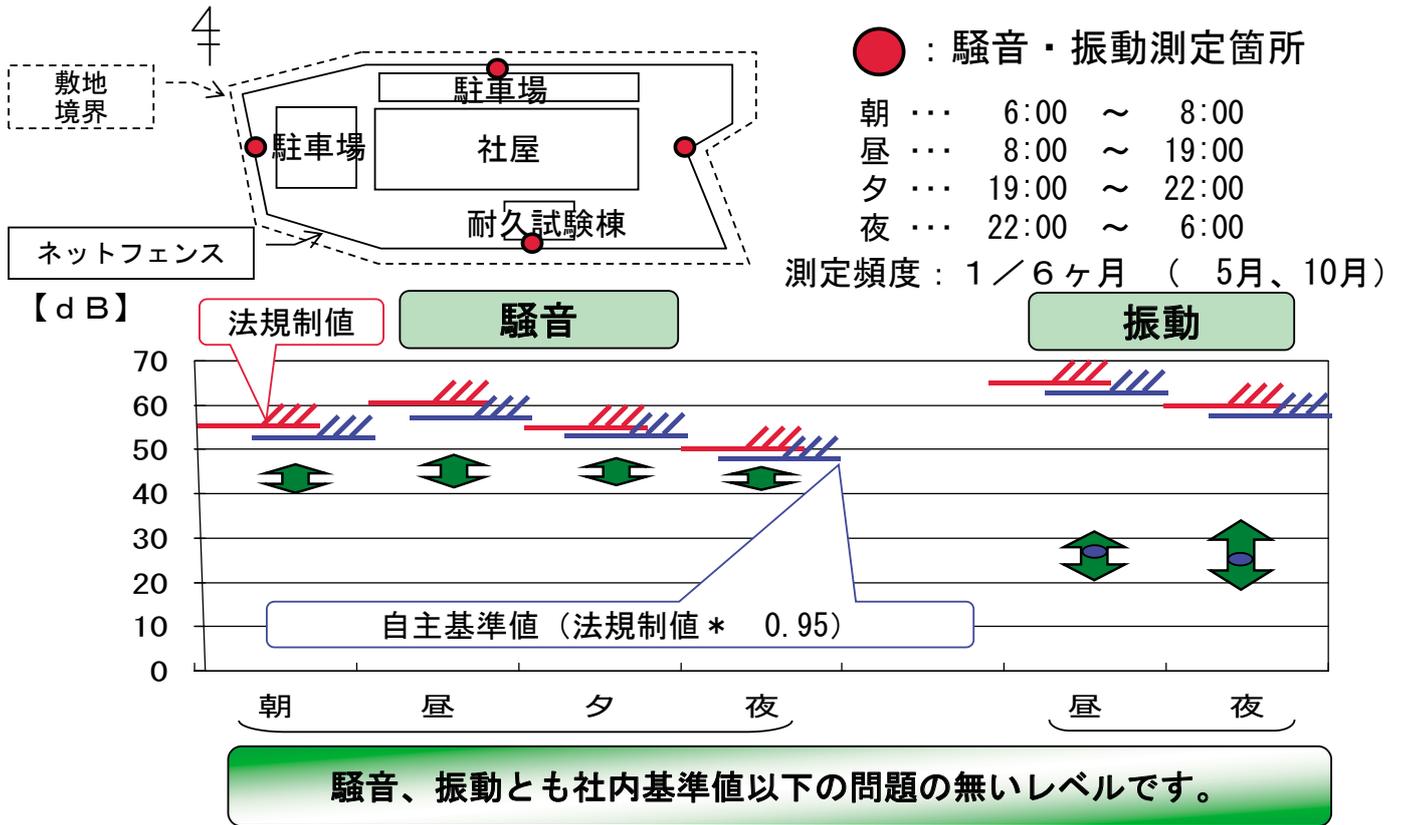
5-5. 法規順守状況

①工場排水の水質測定結果

【菰野町との公害防止協定に基づき2回/年(4月、10月)測定し町に報告】

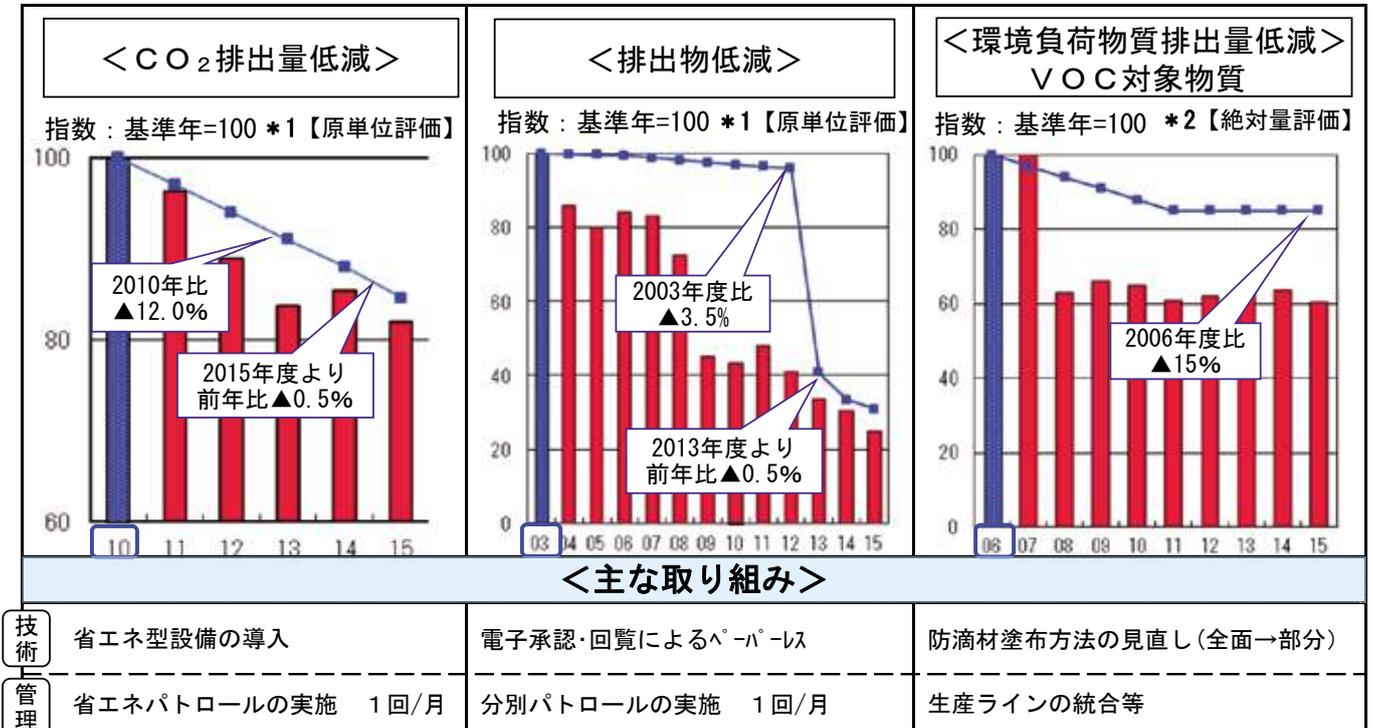


②騒音振動測定結果



5-6. 生産環境負荷削減 (基準年~2015年度)

生産環境負荷の削減活動状況推移について



*1【原単位評価】: 生産金額1億円当たりの排出量
 *2【絶対量評価】: 排出総量(生産に直結)
 VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)

継続的な改善活動で2015年度目標は達成。
 さらなる改善に取り組みます。

5-7. 2015年度環境活動状況まとめ

項目	実施事項	目 標	2015年度実績	評価
法規制などの順守	水質、騒音振動定期測定 届出報告実施	社内基準値以内 漏れなく実施	全て満足	○
	公害及び苦情ゼロ	0件	0件	○
環境負荷の削減	CO ₂ 排出量低減 ・排出量低減	2014年比▲ 1.0%	▲ 3.5%	○
	資源有効利用推進 ・排出量低減 ・ゼロエミ継続（埋立廃棄物 低減）	2014年度▲ 0.5% 150kg/月以下	▲ 19.9% 50kg/月	○ ○
	工場環境負荷物質排出量低減 低・VOC対象物質削減	2006年度比▲15%	▲39.3%	○
環境行動に関する 地域貢献等	地域活動への積極的な参画 ゴミ0活動への参加	4回/年 開催	4回開催 (536名参加)	○
	課単位での環境教育の実施	2 H/人・年以上	2 H	○

各環境目標は達成しておりますが、改善の手を緩めず、今後も「地域から より信頼される企業」を目指し、環境保全活動を推進します。

【One DENSO Action グリーン&クリーン】

世界環境デーに、デンソーグループ統一イベントを実施しました。

1つ目は、「お昼休みのゴミ拾い」です。111名がボランティア参加で当社周辺を清掃しました。

2つ目は、「デンソーグループPHVリレーキャラバン」です。こちらは南はデンソー九州、北はデンソー網走テストセンターの2組に分け、リレー形式で「PHVラッピングカー」をつなぎ、最終はデンソー本社で合流させるということです。当社は、デンソーセールス関西（大阪市）から来たラッピングカーを約94km先のテクマ（可児市）へつなぎました。（6月12日出発2時間弱のコース）これにより、多くの方にエコを意識していただきました。



デンソーセールス関西より引継いだPHVラッピングカー（6月）



昼休みのゴミ拾い（6月）

6. 製品を通じての社会貢献

環境

二輪車・四輪車の燃費を向上し、排出されるCO₂の削減に貢献しています。

<二輪製品>

ACジェネレータ



ECU・イグナイタ



O₂センサ



アイドルストップ用
スタータージェネレータ



<四輪製品>

O₂センサ



電池監視ユニット



EGRTS



電池ECU クランクセンサ



NEW



安心・安全

夜間・雨天時の視認性を向上し、運転者の負荷低減・交通事故の未然防止に貢献しています。

<四輪製品>

LDM(LEDヘッド
ランプ制御装置)



ランプECU



AFS(フロントライト
システム) ECU



レインセンサ



AHS(オートハイ
ビームシステム)
ECU



レベリングECU



快適

寒冷時の車室内暖房の熱源として、快適な移動空間を提供しています。

<四輪製品>

クイックヒータ



編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。本冊子「CSR報告書2016」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2015年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いです。

また、当社はCSR活動についても(株)デンソーと連結経営を行なっております。(株)デンソーの「CSR情報サイト」(<http://www.globaldenso.com/ja/csr>) も併せてご覧下さい。

2016年 9月

発行者 **デンソートリム株式会社**
〒510-1222 三重県三重郡菟野町大強原赤坂2460
発行日 2016年 10月11日
お問合せ先 デンソートリム株式会社 経営企画部総務室
TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050



<http://www.densotrim.co.jp/>